

第17回 いたみアピールフォーラム 日本遺産認定記念

◎「清酒発祥の地・伊丹」「灘五郷」 下り酒の歴史を学ぶ◎

『伊丹諸白』と『灘の生一本』下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷」が
日本遺産に認定されたことを記念し、日本酒にまつわる講演を行います。



『日本山海名産図会』より「米あらひの図」(伊丹市立博物館蔵)



◎ 令和4年1月30日(日) 13:30~16:00 (13:00 受付開始)

◎ 会場：白雪ブルワリービレッジ長寿蔵2階 (伊丹市中央3-4-15)

◎ 申込：令和4年1月4日(火) 9:00 から

電話 → 072-784-8068 (平日9:00~17:30)

電子申請 ↓ QRコードから

<会場を受講希望の方> → → → → → ↓ ↓ ↓

- ・1月4日~14日に受付。
(先着30人。1回の申込で2人まで)
- ・参加費100円(当日、会場にていただきます。
お釣りのないようご協力をお願いします)



<オンライン(Webex)を受講希望の方>



- ・1月4日~26日に電子申請で受付。
後日、IDとパスワードをお知らせします。
- ・参加費無料。



※参加にあたってのお願い

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・発熱(37.5℃以上)など体調の悪い方は参加をお控えください。
- ・会場内ではスタッフの指示に従い新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。



【問合せ先】伊丹市役所 まちなかにぎわい課 電話：072-784-8068

市ホームページ

(主催) いたみアピールプラン推進協議会・伊丹市 (協力) 阪神間日本遺産推進協議会

<プログラム>

13:30～日本遺産『「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷』のストーリーの紹介

伊丹市都市ブランド・観光戦略課 主査 立花 裕也 氏

13:45～ 講演1 「伊丹郷町で造られ、江戸っ子に愛された伊丹酒」

伊丹市教委生涯学習部 主幹(文化財担当) 中畔 明日香 氏

休憩

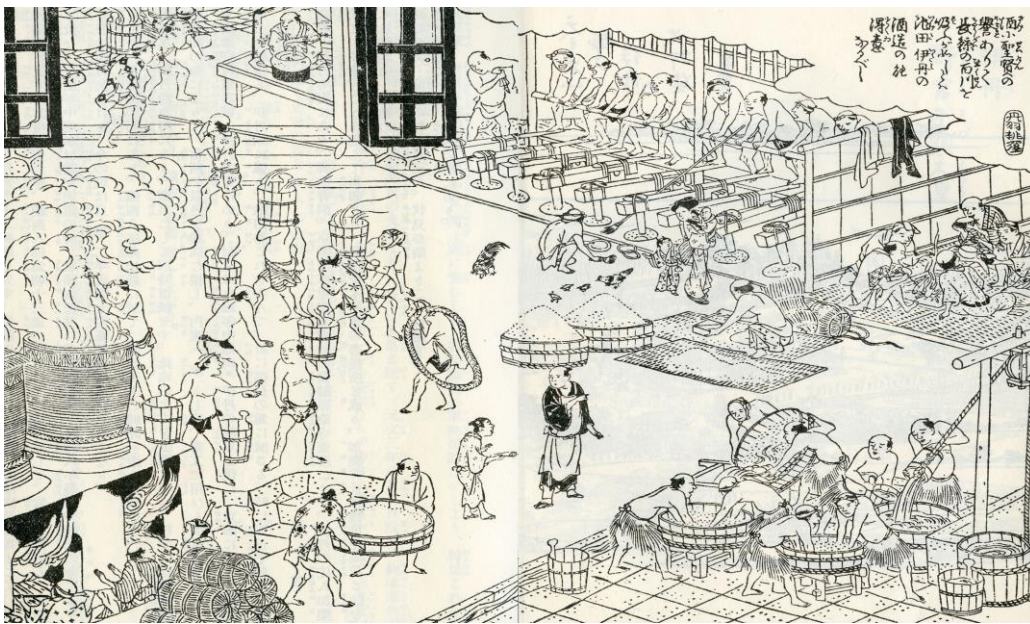
14:50～ 講演2 「丹波杜氏の秘伝を覗く」

神戸市埋蔵文化財センター 学芸員 関野 豊 氏

15:35～ 質疑応答

講演内容

講演1 「伊丹郷町で造られ、江戸っ子に愛された伊丹酒」



『撰津名所図会』(伊丹市立博物館蔵)

酒造りの技は伊丹で確立したとされています。上質な伊丹酒は江戸で「丹醸」「伊丹諸白」等と呼ばれ人気を博しました。伊丹郷町とは？伊丹の造り酒屋って？伊丹酒の造り方は？運ばれ方は？等についてお話しします。

講演2 「丹波杜氏の秘伝を覗く」

日本最大の酒処と知られる「灘」。その隆盛の要因のひとつは、江戸時代後期からの「丹波杜氏(とうじ)」たちの活躍にありました。彼らは丹波地方で農作業ができない冬、伊丹や灘へ約100日間出稼ぎに行き、酒造りに従事したことで「100日稼ぎ」とも言われました。冬に仕込まれる「寒造り(かんづくり)」の寒酒の製造が盛んになり、寒造りへの集中と、それに伴う醸造日数の短縮は、酒造りの歴史に大きな画期をもたらしました。彼ら丹波杜氏たちが持っていた秘伝について、お話しします。

